

■「無い」に挑む■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 359 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

359 目次

1. トピックス：LR オンライン会議にご招待
2. ブログより：「無い」に挑む
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：LR オンライン会議にご招待

LR とは Land Resource (ランドリソース) の略語のことで、僕が所属する一般社団法人日本土地資源協会を指しています。

今月より、新規会員募集の一環として、興味のある方をオンライン会議にご招待いたします。

.

会議の概要としては、、、

開催日時：毎月第 2、第 4 火曜日の 20 時より 22 時までの 2 時間。

前半：プロジェクトの進捗報告や事務局からの連絡事項など情報共有

後半：個別相談や課題提起などの自由討議

ということで、今月は 8 日（本日）と 22 日を予定しています。

参加希望者はこのメールに返信してください。

.

ちなみに、入会に際しては「入会金：1 万円、年会費：1 万 2 千円(月額千円)」で、現在 13 名の会員がいます。

会員には、教科書として「地主の学校」を贈呈し、いつでも無償で勉強会を開催します。

コロナのおかげで、オンラインでの交流やセミナーも手軽にできるようになったので、全ての会議は原則としてリモート開催とし、全国どこからでも参加いただけるように致します。

興味のある方は、気軽にこのメールに返信してください。

ご都合に合わせて zoom 会議を開催し、ご質問やご相談にお答えします。

ではでは！、ではでは！

.....

2. ブログより：「無い」に挑む

ロシアによる侵攻は、ウクライナの反撃が続く限り、終わりそうに無い。

ウクライナは、自ら存続のため、反撃をやめることは無い。

ロシアは、ウクライナが非武装化と中立化（NATO 絶縁）しない限り停戦しない。

誰もがその終結を望んでいるはずなのに、その糸口は無い。

どこもかしこも「無い」だらけ。

世界はまさに、「無い」を何とかするしかない。

・

「無い」に立ち向かうには、無を「存在しないこと」として捉えるのではなく、「無の在り方」について考える必要がある。

釈迦の説く仏教の内容は、文献や学派によって異同があるものの、ほぼ次の五つに集約されるという。

①未生無（みしょうむ）：原因が無いとき、結果は生じて無いということ。

②已滅無（いめつむ）：過去にあったが滅したものは、すでに無いということ。

③不会無（ふえむ）：今この場所に無いということ。

④更互無（こうごむ）：AはBでは無い、BはAでは無いということ。

⑤畢竟無（ひっきょうむ）：過去に無く、未来に無く、現在にも無い、存在し得無いこと。

・

まず言えることは、私たちは③の不会無に直面しているということだ。

これがもし、②の已滅無であれば対立の無かった過去に立ち返り、双方が関係修復を模索できるはず。

そもそも原因が見当たらない①の未生無であれば、これから新たな関係を構築すればいい。

だが、④の更互無であれば、ウクライナとロシアが両立しないことになる。

そして、⑤の畢竟無だとすれば、世界平和そのものがあり得ない話となる。

つまり、勝手に整理すると、③という課題は①または②であれば対処できるが、④や⑤であるならば受け入れるしかないことになる。

・

①の未生無は、そもそも原因が無いので結果が見つかるはずが無いという考え方。

原因を過去と言い換えれば、「有りもしない過去」を根拠にする「現状への不満」では、解消できない。

そもそも領土問題は、双方が認め合わない歴史上の過去を根拠とする点で、尖閣諸島などいづこも共通する。

これを放置する限り、現状を原因とする新たな未来を、双方が力づくで描こうとする。

これに対し、②の已滅無を応用し、諦めずに過去の原因、つまり課題解決されていた過去を探し出し、課題をその喪失としてとらえ直すこと。

失われた地主を再発見する「地主の学校」が、まさにその手法に基づいている。

だがもしも、本当に①を②に転化できないなら、私たちは④や⑤を覚悟しなければならない。

・

④の更互無に対しては、「国家としての存続」ととらえ、すでに「地主の学校」でも述べている。

日本の社会圏が一つの国家として存続するより、小さな国の集合体となるべきという提案は、ロシアとウクライナの対立においても成り立つ議論に思える。

双方が地域社会の連合体であることに立ち返り、どちらのグループに所属したいのか平和的に再統合することでしか打開できないのかもしれない。

そして⑤の畢竟無にいたっては、戦争こそ国家の存在意義であり、戦争をしない国家などあり得ないという諦めだ。

たとえ世界が 2 国の対立に巻き込まれても、参戦だけは踏みとどまっている現状を、「歴史的に重大な一歩」としてとらえても良いと思う。

そして、この一歩は過去に例のない①でなく、失われつつあった②であることを忘れてはならない。

第 2 次世界大戦後、全ての戦勝国が作り出した国際連合憲章の第 2 条 4 項は次のように定めている。

「すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない。」

ロシアもウクライナもこれを批准していることを忘れてはならない。

ましてや、憲法第 9 条において、上記「慎まなければならない」を「放棄」と書き換えた日本こそ、この変化をリードすべきだと僕は思う。

<https://nanoni.co.jp/20220306/>

.....

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 03/08 いづみ (横浜) 作業日

交流◎：13-17 時 いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

会議○：20-21 時 LR 経営会議 (zoom)

(水) 03/09 なのに (自宅) 作業日

会議×：20-22 時 星の谷 MTG (zoom)

(木) 03/10 笑恵館 (世田谷) 作業日

交流×：10-12 時 地主の学校 読解・第 4 章 (zoom)

会議×：15-16 時 かなこ PJT (zoom)

会議×：17-18 時 開かれた会 (zoom)

会議◎：18-19 時 笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

会議○：19-20 時 OforW 経営運営会議 (zoom)

(金) 03/11 なのに (自宅) 作業日

交流○：14-16 時 隣町珈琲 (中延)

交流◎：17-18 時 ふきの庭訪問 (蓮沼)

交流◎：19-20 時 カプラー起業交流会 (zoom)

(土) 03/12 なのに (墨田) 作業日

会議×：12-14 時 RYUSEN PJT (竜泉)

交流×：14-16 時 星の谷 PJT 打合せ (京島)

交流◎：09-17 時 八島花文化財団発起人会 (京島)

(日) 03/13 なのに (自宅) 作業日

交流◎：10-14 時 みんなの裏山 PJT (浦賀)

(月) 03/14 なのに (自宅) 作業日

会議×：21-23時 八島花財団 MTG (zoom)

■定例の予定

- 月曜・毎週 21-23時 ×八島花財団 MTG (zoom)
- 火曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
 - 第2,4 20-21時 ○LR 経営会議 (zoom)
- 水曜・毎週 20-22時 ×星の谷 MTG (zoom)
 - 第2 08-10時 ×AR チーム MTG (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)
 - 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
 - 19-20時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)
 - 第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
 - 18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
 - 20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
 - 第4 10-12時 ×京島まつむら塾 (zoom)
 - 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第2 19-20時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
 - 第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)
 - 第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 03/19 交流○：11-13時 地主の学校 (笑恵館)
- 03/20 交流○：13-16時 チャレンジアシスト報告会 (zoom)
- 03/28 交流×：10-12時 地主の学校 読解・第5章 (zoom)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）
〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1
<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）
<http://land-resource.org/>
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館
<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：
特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）
<http://www.home-for-all.org/>
一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）
<https://localrepublic.jp/>
ユナイテッドスクールオブ東京（顧問）
<https://www.united-school.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>